

# 第 14 期事業報告書

(2020 年 10 月～2021 年 9 月)

一般社団法人 J E A N

## 1. 海洋ごみ問題に関わる情報の収集及び発信

- (1) 海洋ごみ問題について、マスメディア等からの取材または照会に応じた。
- (2) JEAN の活動及び海洋ごみ問題について広く知ってもらうため、JEAN ウェブサイトを適宜、更新した。
- (3) 団体の公式フェイスブックページと、海洋ごみの情報発信フェイスブックページ「海ごみプラットフォーム・J A P A N (Malip)」を運営した。
- (4) 機関紙「美しい海をこどもたちへ」の編集・発行  
サポーター、各地のクリーンアップ運営担当者（以下、「キャプテン」という）及び関係者を対象に、海洋ごみに関する情報を掲載した機関紙「美しい海をこどもたちへ」を、2 回発行した。  
53 号（2020 年 12 月発行、A4 版 4 ページ）  
54 号（2021 年 4 月発行、A4 版 4 ページ）
- (5) 講演等の案内を、適宜メール等で関係者に行った。
- (6) その他  
国内各地の行政、民間企業、N P O 等（個人を含む）との情報交換に対応した。

## 2. 海洋ごみ問題に関わる調査研究

### (1) 自主調査

- ①日本における「国際海岸クリーンアップ（ICC 調査）」の主催  
世界約 100 カ国でいっせいに行われる「国際海岸クリーンアップ」へ参加するため、協力団体を中心に日本国内での参加呼びかけを行った。また、協力団体が実施した結果をとりまとめ、12 月に主宰団体であるオーシャン・コンサーバンシー（アメリカ）へ報告した。

## 3. 海洋ごみ問題に関する啓発及び国際協力

### (1) クリーンアップキャンペーンの展開

- 漂着ごみの実態把握と海洋ごみ問題の啓発活動の一環として、ICC 調査を取り入れたキャンペーンを春と秋に展開し、参加の呼びかけや結果のとりまとめを行った。
- なお、クリーンアップキャンペーンは通年で行うものとし、春と秋はそれぞれ集中キャンペーンとして実施する。
- 今期は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、予定していたクリーンアップの中止

や、実施見送りが相次いだ。地域によって状況が異なることから、キャンペーンは例年通りの開催とし、会場ごとに実施の判断を行った

2020年のキャンペーン（対象期間：1～12月）

目的：漂着ごみの回収および漂着ごみの調査

会場数・参加者数 集計中

上記のうち国際海岸クリーンアップ（対象期間9月～10月） 集計中

① 2021年のキャンペーン（対象期間：1～12月）

目的：漂着ごみの回収および漂着ごみの調査

会場数・参加者数 集計中

上記のうち国際海岸クリーンアップ（対象期間9月～10月） 集計中

③ データベースの構築

調査データの蓄積のため、データベースを構築し、蓄積作業を継続している。

## （2）啓発用展示物の貸し出し

①海洋ごみ問題の現状を認識してもらうため、4種類の展示物を貸し出し、広報活動を行った。

写真パネル（「みんなの問題海のごみ」A1 アルミフレームタイプ、A1 ロール型、A3 ラミネート型「新たな海洋汚染マイクロプラスチック」）

貸出件数：35件 展示日数 302日

②漂着物のトランク・ミュージアムは、トランク本体の傷みのため貸し出し停止中  
全面的な作り直しを予定しているが新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため出張を控えていることから、展示用の漂着物収集の見込みがたっていない

## （3）国際的な知見共有等

①「国際海岸クリーンアップ（ICC）」主宰団体のオーシャン・コンサーバンシー（米国）へ、2020年の国内データを12月に提供した。

## （4）講演・研修指導等の協力

以下の会場で、海洋ごみ問題について講演及び研修指導等を行った。

10/11 葛西臨海水族園 開館記念日イベントで講演（リモート）

10/27 気仙沼市立面瀬小学校5年生授業（リモート）

10/30～31 気仙沼市で海洋プラスチックごみゼロプロジェクト研修会 講演とICC研修

11/6 愛媛県立宇和島水産高等学校実習船えひめ丸にて講演

11/6～7 香川県海ごみリーダー養成講座 講演とICCほかの指導

11/8 NPO法人もあなキッズ講演とワークショップ（新型コロナのため中止）

11/16 東京都生活学校連絡協議会で講演

12/9 寛齋スーパースタジオで講演とワークショップ（講演はリモート併用）

12/11 与論町立与論小学校サンゴ教室にて講演

12/12 与論町立那間小学校サンゴ教室にて講演

- 12/12 海謝美（与論町）勉強会にて講演
- 12/13 アジア3R推進フォーラムに参加（リモート）
- 12/22 横浜市立横浜商業高校 国際科で講演
- 1/31 さいたま市消費者フォーラムで講演とワークショップ（新型コロナのため中止）
- 2/16 西表島エコツーリズム協会ビーチクリーンリーダー育成講座で講演（リモート）
- 2/18 調べてみよう！マイクロプラスチック市民調査第二回検討会議（地球環境基金助成）
- 2/19 西表島エコツーリズム協会ビーチクリーンリーダー育成講座で講演（リモート）
- 2/20 第6回全国川ごみサミット出席
- 2/27 港区エコプラザで講演
- 3/3 都立永福学園高等学校 持続可能な社会づくりに向けた教育推進校成果報告会 講評
- 3/6 港区消費生活センターで講演
- 3/20 造士館講座で講演
- 3/24 狭山市中央公民館での講演とワークショップ（新型コロナのため延期）
- 3/30 サントリーホールディングスで講演（リモート）
- 4/21 創価大学法学部講演（リモート）
- 5/12 与論町立与論中学校にて講演
- 5/12 与論町立小学校合同海洋学習会にて ICC 指導・講演
- 5/25 埼玉土建入間支部で講演（リモート）
- 5/25（独）国際協力機構「海洋ごみ対策のための廃棄物管理」オンライン研修で講義
- 6/20 東串良町愛護会にて講演
- 6/25 国土交通大学校 海岸研修で講義（リモート）
- 7/2 浦和実業学園中学校オリエンテーションキャンプ 講義とワークショップ、ごみ調査指導
- 7/11 徳之島伊仙町阿権集落セミナーにて講演
- 7/17 ビーチクリーンデーin隠岐ウミガメ「リブ」のすむ海を守ろう 講演（リモート）
- 7/26 自治労神奈川県本部 地方自治研究神奈川県集会で講演（対面とリモート併用）
- 8/4（独）国際協力機構 海外の研修員向け ICC ごみ調査手順指導動画撮影協力
- 8/7 2021 気仙沼市海洋プラスチックごみゼロ・プロジェクト講演（リモート）
- 9/17 三井業際研究所オープンセミナーで講演（リモート）
- 9/12 宮崎・鹿児島ロータリークラブ勉強会で講演
- 9/25 宮崎・鹿児島ロータリークラブクロキウムで講演・パネリスト
- 9/26 沈壽官窯緑陰会で講演

#### 委員会・検討会等への出席

- 10/21 対馬市海岸漂着物対策推進協議会（リモート）
- 11/6 環境省事業漂着ごみ対策総合検討会（リモート）
- 11/17 宮崎県海岸漂着物対策推進協議会
- 1/7 環境省事業漂着ごみ対策総合検討会（リモート）
- 2/12 対馬市海岸漂着物対策推進協議会（リモート）

- 2/26 河川ごみ意見交換会（リモート）
- 3/9 環境省事業漂着ごみ対策総合検討会（リモート）
- 3/22 宮崎県海岸漂着物対策推進協議会
- 6/17 対馬市海岸漂着物対策推進協議会専門会議（リモート）
- 6/24 対馬市海岸漂着物対策推進協議会（リモート）
- 12/24 沖縄県海岸漂着物対策ワーキンググループ（リモート）
- 3/18 沖縄県海岸漂着物対策ワーキンググループ（リモート）
- 8/25 沖縄県海岸漂着物対策推進協議会（リモート）
- 11/12 全国川ごみネットワーク啓発資料検討会
- 2/26 川ごみ意見交換会議（リモート）
- 4/15 全国川ごみネットワーク 川ごみ・海ごみ対策検討会（リモート）
- 7/14 全国川ごみネットワーク 環境学習教材検討会（リモート）

取材対応、寄稿、ラジオ出演等

- 10/2 婦人之友誌インタビュー（9月号に掲載）
- 10/4 FM ブルー湘南インタビュー
- 2/8 MBC 放送海と日本プロジェクトロケ
- 5/19 SUUMO ジャーナル取材
- 6/2 SEED×東洋大学 オンラインインタビュー
- 7月 JUON NETWORK 機関紙 119 特集プラスチック問題に寄稿

#### 4. 政策提案

- (1) 海洋ごみ問題への理解等を図るため、今後のプラスチックに係る資源循環の促進等について市民団体のネットワークを通じ意見表明等を行った。

#### 5. 附帯又は関連する事業

##### (1) 専門会、委員等の協力

以下の会議に出席し、情報収集及び提案等を行った。

- ・食品容器環境美化協会主催 環境美化教育優良校等表彰審査委員会
- ・環境省事業漂着ごみ対策総合検討会
- ・鹿児島県海岸漂着物対策推進協議会／会長（鹿児島県）
- ・宮崎県海岸漂着物対策推進協議会／委員（鹿児島県）
- ・沖縄県海岸漂着物対策推進協議会 委員（沖縄県）
- ・同上 ワーキンググループ（沖縄県）
- ・長崎県対馬市海岸漂着物対策推進協議会 委員
- ・公益財団法人日本自然保護協会評議員
- ・全国川ごみネットワーク理事

#### 6. その他目的を達成するために必要な事業

- (1) 出版社等からの要望により、海洋ごみ問題に関する画像を、有料で貸し出した。

(2) 資料(「海辺のカルテ」、「海辺のカルテ 漂着物ワークブックこども用」映像資料「ゴミ箱になった海」、映像資料「人工の海」)を、継続して販売した。

(3) 受託事業、助成活動等

①平成31年度海洋ごみ削減のための複数自治体等連携による発生抑制対策等モデル事業  
(日本環境衛生センターより受託)

11/24 環境省モデル事業結果報告会開催(岡山県津山市)

11/25 環境省モデル事業結果報告会開催(三重県四日市市)

12/16 環境省モデル調査検討会(リモート)

②南紀熊野ジオパークを軸とする地域連携型サステナブルツーリズム実証事業

日置川町商工会/㈱コムブレインズより受託

地域向け海ごみ講座とワークショップ実施およびモニター向け海ごみ講座とICC実施

③調べてみよう!マイクロプラスチック市民調査

(独)環境再生保全機構地球環境基金による助成活動

(2か年のうち2年目について新型コロナウイルス感染症の影響により1年延長)

2020年10月~2021年9月末の主な活動は以下の通り

説明会参加団体等に調査用具キットの貸し出しを行い、随時調査を実施

(4) その他

個人、団体、企業、学校等から、海洋ごみ問題(特にプラスチックによる海洋汚染)についての問い合わせや、クリーンアップ等への参加相談が多数寄せられた。